

# 後拾遺和歌集

## 卷第四

秋上

ほたるをよみはべりける

源重之

おともせでおもひにもゆるほたるこそ

なくむしよりはよりもあはれなりけれ

宇治前太政大臣？講ののちうたあはせしはべりけるに  
ほたるをよめる 藤原良経朝臣

さはみづにそらなるほしのうつるか

みゆるはよはのほたるなりけり